

[具体的データ]

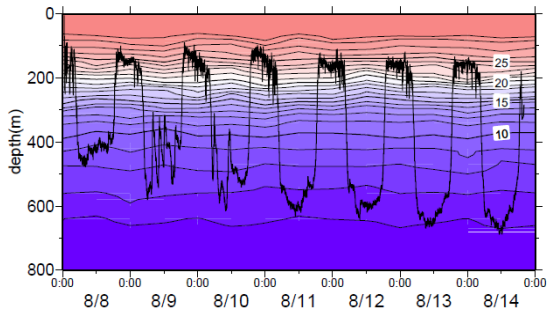


図1. 7日間追跡した個体で見られた日周鉛直移動。夜間は100-200m前後の水深帯、昼間は400-700mであるが日を追って深くなっていることがわかる。1日に経験する水温差は最大で20°C以上になる。

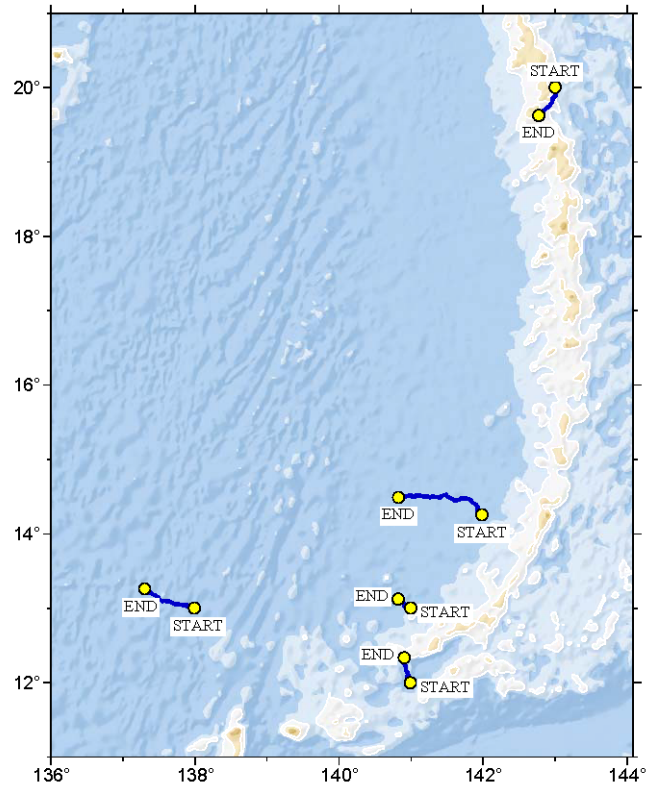


図2. ウナギの放流位置 (START) と追跡終了地点 (END)。全て西向きに移動している。

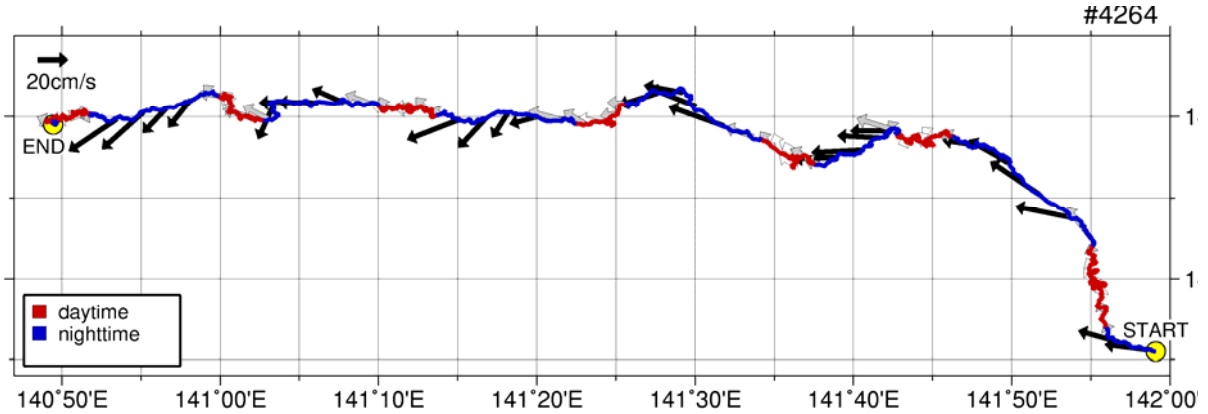


図3. 7日間追跡個体の水平移動パターン (赤青線) と遊泳水深における流向流速 (矢印)。赤は昼間 (8:00-16:00)、青は夜間 (20:00-4:00) を示す。夜間、明方夕方、昼間に分け、2時間ごとの平均遊泳水深に最も近い水深の流向流速を矢印で示した。黒矢印 (夜間)、明け方と夕方 (灰色矢印)、昼間 (白矢印)。

[公表の可否] 印刷物 可・否
水研センターHP ・否